

## 公益財団法人日本バレーボール協会

### 第7期(2016年度)運営基本方針

(2016年4月1日-2017年3月31日)

本協会は、わが国におけるバレーボール界を統轄し代表する団体として、グローバル化、情報化、少子高齢化、格差拡大などの急激な環境変化の中、バレーボール競技の普及、振興および発展を図り、児童・青少年から高齢者に至るまで、国民の心身の健全な発達、維持および人間性の向上に寄与し豊かな社会の形成に貢献するため、本年度は以下の基本方針に基づき事業を推進する。

更に、財務体質の改善や風土改革そして競技人口の減少と言った近年の慢性的課題に終止符を打つべく、本年は「守りから攻めへの転換の年」とし、成果を産み出すべく取組みを開始する。

#### ▶ バレーボール力の強化

「普及と強化は全ての基本である」ことを念頭に

1. 本年開催されるリオデジャネイロオリンピックへの出場を目指し突き進む
2. 東京2020大会を見据え、明確な目標設定と厳しい工程管理により、現在の「若手有望選手から代表チームへ」との一貫強化体制を更に精度アップし、未来に繋がる夢の持てる強化体制を構築する
3. 選手の発掘・育成・強化および競技会の企画・運営等、2016年をビーチバレーボール元年として再出発する
4. 競技人口の拡大・選手の発掘育成・指導者の資質向上・強化体制の改善に向けプロジェクト・コアを見直しその内容の充実を図る

#### ▶ 組織力・人間力の強化

1. 社会的責任を果たせる組織となるためにガバナンスを確立する
2. 企画・告知・集客・メディア対応等総ての基本を「ファン目線」及び「アスリートファースト」とする
3. 風土改革・人材登用等により自由闊達な運営を目指す
4. 予算立案・経費削減・3C (commit, communicate, complete) 等意識改革を図ると共に、国際折衝力やマーケティング力の強化により収益増を図り、財務基盤を強化する
5. コンプライアンス体制を強化し、暴力・体罰・ハラスメントの根絶に向けた対策を推進していく
6. 2050年構想とそれに基づく中期計画策定の取組みを開始する